

長野市洪水タイムラインの改定について

1 改定の趣旨

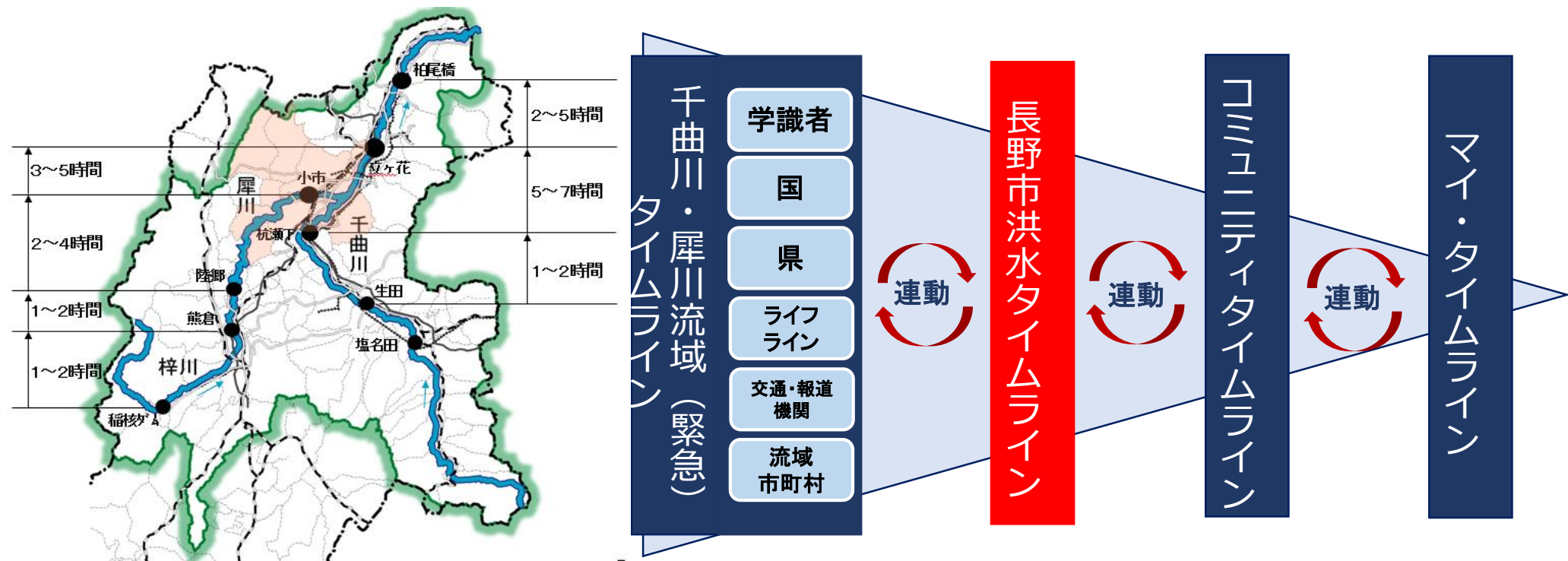
H29に見直しを行った、現在の長野市洪水タイムラインを国の千曲川・犀川流域（緊急対応）タイムラインの運用状況（R3.6～）、地域防災計画の改定（R5.2）等反映した内容に見直すもの

タイムライン

台風や前線停滞が見込まれる際に、防災行動の内容などについて時系列に整理した、防災行動計画

2 経緯

- H28.3 千曲川・犀川流域（緊急対応）タイムラインのリーディングプロジェクトとして、**長野市洪水タイムラインを策定**（計画規模降雨：L1）
- H28.5 国管理河川 想定最大規模降雨（L2）における浸水想定区域図の公表
- H29.3 **長野市洪水タイムライン見直し**（想定最大規模降雨：L2対応）
- R元.10 令和元年東日本台風災害
- R3.6～ 千曲川緊急治水対策プロジェクトのソフト対策の一環として、**千曲川・犀川流域（緊急対応）タイムラインの運用を開始**
- R3.12 長沼地区がコミュニティタイムライン（地域の防災行動計画）を策定
- R5.3 柳原地区がコミュニティタイムライン（地域の防災行動計画）を策定



千曲川・犀川流域(緊急対応) タイムラインのエリア

➤ 流域内の93機関

(学識者3、国6、県22、ライフライン・交通・報道機関等21、市町村41)が参加

(1) 流域タイムラインの反映

千曲川・犀川流域（緊急対応）タイムラインと円滑に連動させるため、**国のタイムラインの内容を反映**する。

(2) 長野市地域防災計画の反映

各班の応急活動を「簡潔に、見える化」するタイムラインに、**最新の長野市地域防災計画（R5.2改定）の内容を反映**する。

(3) 近年の災害対応の反映

令和元年東日本台風災害時の対応の検証結果を反映する。

5 長野市洪水タイムライン（作成帳票）のイメージ&作業内容

いつ			防災行動項目	防災行動細目	備考	総務部									
流域警戒ステージ	警戒レベル	行動No.	※各種の防災行動の前提条件となる行動項目を 行の先頭方向(段落ち左方向から)に記載	※詳細な防災行動や発出する情報 を記載	※情報の発信手段や入手手段 および、行動を実施する基準 を記載	班	本部 班 （危機管理 防災）	総務 班	職員 班	情報 システ ム班	職員 研修所 班	行政 DX推 進班	公共 施設 マネジ メント	管財 班	
I (概ね 発災 5~3 日前)	警戒 レベ ル 1 相 当	1	■運用会議への参加 (流域警戒ステージⅢまで継続)	・運用会議の閲覧				◎							
		2	■気象情報の収集・組織内共有の開始	・台風や大雨等に関する情報の収集	各主体が気象台ホームページ等で情報入手										
		3		・気象情報の収集状況を庁内での情報共有											
		4	■流域警戒ステージの確認・共有 (以後、継続)	・流域警戒ステージ移行のメールによる通知を受けて庁内へ 周知											
		5		・タイムラインの確認											
		6	■庁内連絡体制の構築・確認												
		7		・各担当者の役割確認											
		8	■大雨に対する配備体制の周知	・技術情報センター指定管理者に注意喚起											
		9		・人員、緊急連絡先一覧の書類、データ等の 所在を確認	各町緊急連絡票										
		10	■コミュニティタイムライン運用地区へ 連絡	・コミュニティタイムライン運用地区へ流域 警戒ステージを伝達											
		11		■関連施設の休園等検討	・公立保育園										
		12	■住民への警戒呼びかけ	・住民への注意の呼びかけ（ハザードマップ や避難行動の確認、個人や家庭でできる水害 対策の確認など）											
		13		■主催行事の中止検討判断	・参加者への連絡、広報実施										

「防災行動項目・細目」の
修正・削除
または新項目の追加

「防災行動項目・細目」に
自班（課）が該当する場合
「◎・○」を記入

